

法人本部
2022年度事業計画

2022（令和4）年度の本部事業計画については、中期計画における最終年の内容を主軸として計画するとともに、未達成の項目や関連する取り組みを盛り込んで策定します。

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(1) 更なるSNSの充実

- 法人ホームページの記事更新において、各施設行事や研修実施報告だけでなく外国人材の活躍をアピールできるコンテンツの検討、脳梗塞リハビリステーション神戸須磨の改善事例やセミナー案内等のトピックスをアップし、幅広いユーザーに認知してもらえるよう定期配信を行います。また、各施設の紹介動画の作成とYouTubeを活用した配信の検討を行います。

(2) 愛&ハートの見直し

- 第3四半期を目処に、愛&ハートのリニューアルを進めます。また、配送先についてはNTT 労組関連等の電子データ送付での要望等に合わせ、発行部数を削減し、コスト面も意識しながら見直しを図ります。

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(1) 法人内事例発表会の開催

- 第1回法人内事例発表会を開催します。発表会の内容、スケジュール等を企画し、円滑な発表会の開催をめざすとともに、実施後の振り返りと課題点を整理し次回以降の開催につなげます。
- 法人内部にとどまらず、外部で開催される発表会の情報収集及びオブザーバーで参加し、今後の参加に向けた検討を進めます。

3. 安定的で継続性をもった経営

(1) 資金投資計画の策定

- あいハート須磨土地無償契約終了（2023年9月末）に伴う交渉を行います。契約金額や借入金返済シミュレーション等を作成し交渉に備えた準備を行います。

(2) 財務状況の健全化

- 法人全体における収入予算の管理や積立資産の一括管理等の管理体制を構築し、本部主導で収支管理を徹底します。
- 決算時には経営指標分析を実施し、財務面における法人、施設の強みと弱みを明確にして収支改善に向けた取り組みを検討、提案します。

(3) 寄付金減少への対応

- NTT 労組の協力を得ながら定期的な意見交換会の実施やコロナ禍における後援会の取組方法の検討など訴求活動を進めます。
- NTT 労組、関連組織に対する愛&ハートの配布方法や周知方法について検討します。

(4) 人材の確保と育成

- 愛の家の事業計画、収支計画の策定及び人材育成等のサポートを行います。
- 新人事考課制度におけるリフレクションシートの理解と確実な運用に向けた管理者研修の実施を計画するとともにその進捗管理を行います。
- 新賃金制度における賞与の算定式や業績達成度係数の算出方法の見直しを行います。
- 年度末部門表彰の内容や評価方法についてその在り方も含めて見直し検討を行います。
- 介護福祉士養成校に対し実習生の受け入れ勧奨を進めます。先生方への求人情報の提供や学生の動向確認を行い実習時期を考慮した提案を行います。
- 各施設と連携して今後の採用戦略を打ち出したうえで新たな人材の確保策を検討し計画的に取り組めます。
- 動画コンテンツ配信等、SNSを活用した新たな施策を検討し実施します。
- 求人サイトへの迅速な登録及び定期的な更新を実施し応募数の増に努めます。

(5) 高い規律性や倫理観をもった法人経営（ガバナンスの強化）

- ・新人事考課、賃金制度の運用状況の監査をはじめ、事業計画の進捗管理やその達成に向けた支援を行います。
- ・各施設における購買管理や契約・決裁等の会計処理業務について内部監査を実施し、更なるガバナンス強化に努めます。また会計監査人の導入に備え、監査時のスムーズな対応と負担軽減をめざして内部管理体制基本方針を策定します。
- ・法改正施行について洩れなく情報を収集し、改正に伴う内容の整理及び規程類の作成や更新を行い速やかに理事会へ提案し施行日までに整備します。
- ・2024年1月施行予定の電子帳簿保存法改正の対応に向け、4月から請求書等の証憑を電子データ化して保存します。併せて各施設の担当者に対するレクチャーや問い合わせ対応等スムーズな導入に向けサポートを実施するとともに、内部監査時にチェックを行います。

(6) 中期計画の振り返りと策定

- ・中期計画の振り返りと2023年度以降の法人及び本部の3カ年中期計画を策定します。

4. 地域交流の推進

- ・施設の取り組みに対するサポートを継続して実施します。取り組み内容は愛&ハートや法人Webサイトを通じて積極的に発信します。

以上

愛の家
2022年度事業計画

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 情報収集と課題解決の実施

・「お客様の声」の積極的収集によるサービスの向上と業務改善を推進します。

(2) 情報発信

・機関紙（愛&ハートや愛の家だより、ホームページ、家族会等）を通じてサービス向上に向けた取り組みや行事の実施状況などの情報を発信します。

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み

①人材育成

①-1 人事考課制度の適正運用

・考課者によるフィードバック面談（年2回）を完遂します。
・リフレクションシートの運用・充実により管理者育成を推進します。

①-2 計画に基づき、各種資格取得や外部研修等の受講を推進します。

・強度行動障害に関する研修（基礎）：きぼう（5名）、かがやき（4名）、工房みさき（4名）
・SST訓練に関する研修：きぼう（3名）
・各部門で直面している課題に応じたテーマ別外部研修を受講します。

①-3 サービス向上や業務改善施策を体系的に整理して、法人主催の事例発表会で発表します。

①-4 事務業務の体制強化（1人2業務（①給与・請求、②会計・給与、③請求・労務））に向けたOJTを開始します。

①-5 新卒採用職員（6名）に対して計画的な研修・OJTを実施するとともに、各個人の適性・希望を考慮した配属先を決定します。

②部門別重点施策の推進

・部門別事業計画の遂行により、サービス向上を目指すとともに各部門の「強み」を確立・強化します。

③日中活動の充実

・感染状況および感染予防対策に留意しながら日中活動の充実を図ります。

④給食サービスの向上

・管理栄養士の配置に向けて、業務内容や勤務時間等を検討・整理します。
・委託会社との協議を継続するとともに、他の給食会社の情報収集・比較（費用・サービス内容）検討を行います。

⑤事故防止の取り組み

・ヒヤリハットの積極的収集を展開します。
・事故発生時は、速やかに事故報告と要因分析を行い再発防止に努めます。

(2) 防災・防犯対策

・安否確認ツール（メーリングリスト）による連絡体制を構築します。
・四半期毎に安否確認訓練とツールの整備（職員リストの現行化）を実施します。
・法定避難訓練（年2回）と防災自主訓練、防犯訓練を実施します。

(3) 中期計画の振り返り・策定

・中期計画（2020年度～2022年度）の振り返りを行うとともに、法人ビジョンの実現及び各部門の「強み」の確立・強化に向けた次期中期計画を策定します。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 当期資金収支差額の最大化

- ・稼働率の向上および各種加算算定による収入増を目指します。
- ・業務改善や既存契約会社の見直し等によるコスト削減に取り組みます。

(2) 生産性の向上

- ・各部門(担当)の職員体制に関する検討を行い、適正化を目指します。
- ・業務改善による生産性の向上を推進するとともに、ICT等の活用について検討します。

(3) マネジメント体制の強化

- ・副施設長の配置およびマネジメント体制の一部見直しを実施します。

(4) 既存事業の検証

- ・相談支援事業の目的を再整理するとともに、今後の事業運営について検討します。

(5) 日中活動施設の建設に向けた対応

- ・日中活動のコンセプト(趣意・機能)を整理して基本計画を策定するとともに、設計会社との協議を進め、日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクトに応募します。

(6) 非常勤職員の賃金改定内容・方法の見直し

- ・非常勤職員就業規則に基づいた賃金改定を実施します。

(7) 有給休暇基準日の統一

- ・有給休暇基準日の統一(10月1日)を実施します。

(8) 計画的な改修工事等の実施

- ・キュービクルの更改に向けた補助金申請を実施します。
- ・きぼう女子棟の共有スペース設置に向けた検討を行います。

(9) 月次管理項目の追加

- ・部門別職員配置状況、部門別時間外労働実績(平均・30時間以上人数)、水道光熱費の推移に関する月次管理を開始します。

(10) 個別面談の実施

- ・施設長と職員との個別面談を実施して、悩みの解消やキャリアプランの検討材料とします。

(11) 人材確保

- ・正職員の要件を整理するとともに就業規則の変更を目指します。
- ・適正配置を意識した採用活動を展開します。

(12) BCPおよび研修・訓練計画の策定

- ・BCPおよび研修・訓練計画の策定を推進します。

(13) 愛の家ユニオンとの連携強化

- ・経営状況(事業計画や予算の進捗状況等)や労働環境の改善状況(「長時間労働の是正」や「有給休暇の取得推進」等)について、定期的に情報共有します。

(14) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・基本対策(体調管理、消毒・換気、入館管理、オンライン面会等)を継続するとともに、抗原検査やPCR検査の活用による機動的・弾力的な対応を行います。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。)

(1) イベントの実施・参画

- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮したイベントを開催し、地域の団体等との交流を図ります。

(2) ボランティアの受入推進

- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮した受入調整を行います。

あいハート須磨
2022年度事業計画

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 増床および大規模改修に関する情報発信

・大規模改修完了を「リニューアルオープン」と位置付けた情報発信を行い、稼働率向上を目指します。

(2) 情報発信ツールのリニューアル

・現行のパンフレットのリニューアルに向けた対応を進めます。

(3) 情報収集と課題解決の実施

①「お客様の声」の積極的収集によるサービスの向上と業務改善を推進します。

②地域包括支援業務を通じて地域課題を収集し課題解決に取り組みます。

(4) 「地域における公益的な取組」状況の発信

・機関紙愛&ハートを通じて「地域サポート施設」の活動内容を発信します。

(5) ショートステイに関する営業ツールの新設

・新たな営業ツールを作成し稼働率向上を目指します。

2. 安心して信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み

① 人材育成

①-1 計画に基づき、各種資格取得や外部研修等の受講を推進します。

・ノーリフトケアコーディネーター (ベーシック) : 特養 (2名)、須磨デイ (1名)

・ノーリフトケアコーディネーター (アドバンス) : 特養 (1名)、須磨デイ (1名)

・認知症ケア実践者研修 : 特養 (2名)、リーダー研修 : 特養 (2名)

・リフレクションシートの充実により管理者育成を推進します。

・各部門で直面している課題に応じたテーマ別外部研修を受講します。

①-2 サービス向上や業務改善施策を体系的に整理して、法人主催の事例発表会で発表します。

①-3 事務業務の体制強化 (1人2業務 (①給与・会計、②会計・請求、③請求・給与)) に向けたOJTを継続します。

①-4 安全衛生管理体制の強化 (衛生管理者増員) に向けた対応を開始します。

② ノーリフトケアの導入・定着化

・腰痛予防に関するリスクアセスメントに基づき、リスク回避・低減策の立案・実行・評価 (腰痛予防リスクマネジメント) を実施します。

・安全衛生委員会の中で腰痛予防リスクマネジメントの取組状況を共有します。

・リフト (天井走行式・移動式) とスライディングボード等の定着化及び活用量の増加 (対象者・活用シーンの拡大) を目指します。

③ 見守りシステム (眠りSCAN・カメラ) の活用

・見守りシステム運用の定着化及び活用量の増加を図ることで、サービス向上と事故防止、業務量・負担感の軽減を目指します。

④ 感染症対策の強化

・全部門に「感染症対策指針」を整備するとともに、「委員会の開催」、「研修の実施」、「訓練 (シミュレーション) の実施」を確実に遂行するための仕組みを作ります。

⑤ 高齢者虐待防止の推進

・全部門に「高齢者虐待防止指針」の整備及び「担当者」を配置するとともに、「研修」を実施します

⑥ 部門別重点施策の推進

・部門別中期計画 (2020年度~2022年度) の遂行により、サービス向上を目指すとともに各部門の「強み」を確立・強化します。

(2) 防災・防犯対策

・四半期毎に安否確認訓練とツールの整備 (職員リストの現行化) を実施します。

- ・法定避難訓練（年2回）と防災自主訓練、防犯訓練を実施します。
- (3) 中期計画の振り返り・策定
- ・中期計画（2020年度～2022年度）の振り返りを行うとともに、法人ビジョンの実現及び各部門の「強み」の確立・強化に向けた次期中期計画を策定します。

3. 安定的で継続性を持った経営

（社会的な要請への対応と法令遵守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。）

(1) 財務状況の健全化

- ・特養増床エリアの新規入居者受入れを円滑に行い、早期満床（機会損失の最小化）を目指します。
- ・デイサービスエリア改修工事に伴う収入減の最小化を目指します。
- ・算定加算の拡大に向けた対応を推進します。
- ・「リニューアルオープン」の訴求による稼働率向上で収入増を目指します。
- ・見守りシステムやインカムの配備による効果を検証するとともに加算要件緩和の可否を確認します。
- ・事業別決算データの分析を行い、客観的指標に基づいた経営課題の把握と改善に向けた対策に取り組みます。

(2) 人材確保

- ・求人チャネルの有効活用により、計画的な採用活動を展開します。
- ・腰痛予防対策の展開により職員の離職防止と業務制限の最小化を目指します。
- ・離職防止（定着化）に向けた取り組みを検討・実施します。

(3) BCPおよび研修・訓練計画の策定

- ・BCPおよび研修・訓練計画の策定を推進します。

(4) 新規事業（脳梗塞リハビリステーション神戸須磨）

- ・「営業チャネルの拡大」と「後遺症改善事例の発信」及び各種営業施策の展開により、新規契約者の獲得を目指します。
- ・人材育成の推進により、営業稼働の拡大を目指します。

(5) 計画的な改修工事の実施

- ・デイサービスエリアの大規模改修（日常訓練スペースの拡張、3人用浴槽の更改、脱衣室の改修）やショートステイ用居室のプライバシー改修、厨房の床の改修等を実施します。

(6) あいハート須磨ユニオンとの連携強化

- ・経営状況（事業計画や予算の進捗状況等）や労働環境の改善状況（「長時間労働の是正」や「有給休暇の取得推進」、「腰痛予防対策」等）について、定期的に情報共有します。

(7) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・基本対策（体調管理、消毒・換気、入館管理、オンライン面会等）を継続するとともに、抗原検査やPCR検査の活用による機動的・弾力的な対応を行います。

(8) 電子帳簿保存法への対応

- ・2024年1月施行予定の電帳法改正に備え、今年度中に税務関係の書類等を電子データで保存する事務処理体制を整備します。

4. 地域交流の推進

（地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。）

(1) ボランティアの受入推進

- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮して受入調整を行います。

(2) イベント等の実施

- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮してイベントや学校からの実習依頼等に対応します。

(3) 自治会支援

- ・自治会からの依頼に基づき、各種支援を行います。

(4) 「地域における公益的な取組」の推進

- ・地域包括支援業務を通じて「地域サポート施設の事業内容」を検討します。
- ・地域サポート施設事業の継続及び須磨区社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット須磨）への参画を継続します。

あいハート離宮前
2022年度事業計画

1. 利用者等への対応の充実と情報発信

(利用者、家族、地域住民の要望に応える運営を行い、福祉社会への情報発信に努めます。)

(1) 情報収集と課題解決の実施

- ① 「お客様の声」の積極的収集による業務改善を推進します。
専用用紙の配置と職員の聴き取りによる「お客様の声」の収集を継続します。

(2) 情報発信

- ① 運営懇談会を通じてサービスの提供状況や財務状況等に関する報告・周知を行います。
- ② 「離宮前通信」、ホームページ、インスタグラム等の媒体を活用し、ご利用者向けのみならず、入居者獲得や職員確保につながる内容を意識的に盛り込んだ情報発信を展開します。

2. 安心で信頼されるサービスの提供

(安心、安全なサービスの提供と質の向上を図り、信頼獲得に努めます。)

(1) サービス向上の取り組み

- ① 《満足》を超える《感動》を生む介護サービスを、自ら考えた言動により実現できる職員を育成し、ホスピタリティーの実現を目指します。
- ② ノーリフトケア委員会を中心として、新たに導入した移乗用リフトやスライディングボード等の運用基準を確立し、安全・安楽等の処遇改善の評価を継続的に行うとともに、自立支援を損なうことのない活用域の適正について管理します。
- ③ 見守りシステムの活用により、巡視と排泄介助の業務フローをご入居者様の覚醒に合わせたものに改定し、睡眠の質の向上と昼夜逆転の防止や傾眠低減による日中活動量の適正化を図ります。また、それら成果の評価を継続的に実施します。
- ④ 長谷川式スケールの入居時ならびに定期的な実施の継続により、認知症の変遷を把握するとともに、“見える化”された客観的な指標としてご家族様と共有します。
- ⑤ バイタル、表情、生活動作等から日々の体調や変化を把握して異常の早期発見に努め、嘱託医との24時間のオンラインによる連携を図りながら重症化や入院の減少に努めます。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策の実施期間中は、近況報告のお手紙を毎月ご家族様にお送りする取り組みを継続します。
- ⑦ 食事アンケートの結果に基づき、ご入居者の嗜好に配慮した選択メニューについて、コストや人的要素、食事形態への対応などの課題を抽出し、導入の可否について検討します。

(2) 事故防止と再発防止の取り組み

- ① 見守りシステムの導入により、これまで把握できなかったヒヤリハット事案の収集に注力します。(ヒヤリハットの収集件数は3年間で2割の増加を見込んでいます。)
- ② 見守りシステム導入初年度の取り組みとして、事故発生件数の半減を目指します。また、事故再発防止検討会議に於いて見守りシステムを活用し、精度と効率の向上を図ります。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

- ① 職員の日常生活にも厚生労働省が示す「新しい生活様式」が定着するように啓蒙します。
- ② PCR検査やワクチンの接種など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・収束(終息)に向けた取り組みが円滑に行われるように入居者・職員への説明や準備、支援を行います。
- ③ ボランティアや講師との連携を図りながらアクティビティーや行事の早期再開を目指します。

(4) 防災・防犯対策

- ① 法定避難訓練(年2回)と自主訓練(神戸市シェイクアウト訓練等)、防犯訓練を実施します。
- ② 四半期毎の安否確認訓練では、登録率100%と返信率90%の継続的達成を目指します。

3. 安定的で継続性を持った経営

(社会的な要請への対応と法令順守を基調に安定的で継続性をもった経営を行います。)

(1) 入居一時金の料金プラン改定への対応

- ① 新料金プランに則した待機者が発掘できるような媒体や営業先を抽出して情報発信を継続的に実施し、信頼関係の構築と知名度の維持・向上を目指します。
- ② 新料金プランに移行後のプラン別申し込み状況、償却益の動向・推移について蓄積し、新料金プランの構成が市場ニーズや入居期間に対して適正であるかの検証を継続的にを行います。

(2) 人材確保と育成

- ① 見守りシステムの導入を機に、職員配置や業務フロー、勤務時間、休憩のローテーションなどを見直します。また、正職員・準職員・環境整備スタッフの構成と担務を精査・再構築します。
- ② 生産年齢人口の先細りに備えた広域・多様な採用推進を本部と連携して継続します。
- ③ 新人事考課制度導入後の考課者間に於ける評価基準の統一を目的として、考課者全員が参加する考課者会議を開催して、評価基準の明確化・共通化を図ります。
- ④ 年次有給休暇の計画的な取得を促進し、法定の取得を遵守します。
- ⑤ 年間休日日数など労働環境や処遇面の優位性を啓蒙するとともに、ノーリフトケアによる腰痛予防の実現や長時間労働の排斥等によって離職防止を図ります。
- ⑥ 職員の自己啓発意欲の増進と高い定着率を基盤としながら、各種資格の取得を促進します。特に介護福祉士国家資格者の割合は業界トップ水準を維持します。
- ⑦ ノーリフト委員会を中心に事例発表会に於ける発表を前提とした研究に取り組みます。
- ⑧ 施設長と職員との個別面談を実施し、悩みの解消やキャリアプランの検討材料とします。また、抽出した課題をリスト化し、解決担当者を設ける等の方法により業務改善を目指します。
- ⑨ 電子帳簿保存法及び規程に則った会計帳票の電子化を推進します。

(3) 当期資金収支差額の確保(最大化)

- ① 介護保険制度への理解を深め、算定可能な全ての加算を算定し、当期資金収支差額の最大化を目指します。
- ② 収支差率をもとにした収支分析から算出する要介護度の構成プランの当年度目標を策定し、プランの実現に向けた入居者の獲得を目指します。
- ③ 人員配置の適正化と業務改善、業者・契約の見直し等を通じたコスト管理を継続し、人件費率ならびに事業費・事務費比率(販管費比率)を業界の適正水準に維持します。
- ④ 常時待機者が維持できるように多様な営業手段・媒体を活用した営業を継続的に展開します。また、有料の紹介業者の活用域を拡大させることも選択肢として早期契約を目指します。
- ⑤ 待機者や検討中のお客様に対して定期的な情報発信を行い、退居後の早期契約を目指します。

(4) BCP(事業継続計画)の草案を策定するとともに、必要な職員研修と訓練を実施します。

(5) 中期計画の達成に向けた進捗の管理と最終年度の総括をします。また、次期中期計画の策定をします。

4. 地域交流の推進

(地域社会の活動拠点として、施設と利用者が地域社会の一員としての役割が果たせるよう取り組みます。)

(1) ボランティアの受入推進

- ① リモートによるボランティアとの交流について検討します。
- ② 活動再開後はボランティアとの意見交換会を定期的で開催し、問題や要望の改善に努めます。

(2) イベント等の実施

- ① 十分な感染対策を講じながら、納涼祭(夏祭り)や敬老会、クリスマス会などのイベントを実施します。また、外出ツアーの実施について検討します。